

日本共産党 参院議員 小池晃書記局長が被災者支援に

天ヶ瀬温泉街や日田温泉旅館代表と懇談

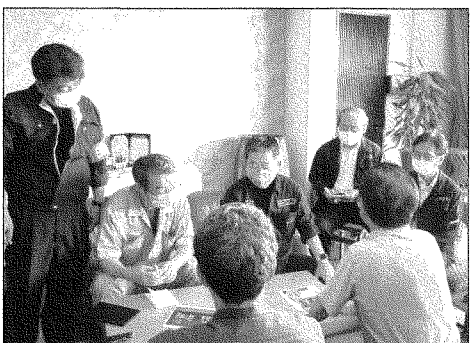
21日、小池晃参議院議員・党書記局長が、原田市長や天ヶ瀬温泉街のホテル旅館の代表、日田温泉旅館組合長から被災状況を聞くとともに、復旧復興のために「グループ補助金制度が利用できるよう国に求めていきたい」と述べました。



左から日隈市議、大谷市議、原田市長、小池書記局長、真島前衆院議員、仁比前参院議員、猿渡県議、堤県議。義援金100万円を渡す。

ホテル・旅館関係者は、日韓関係、新型コロナウイルス、今度の豪雨災害と三重苦で復興できるか苦悩しています。「コロナで融資を受けていけば、これ以上もう借金は

(←屋形船修繕で日田温泉旅館組合長と懇談)

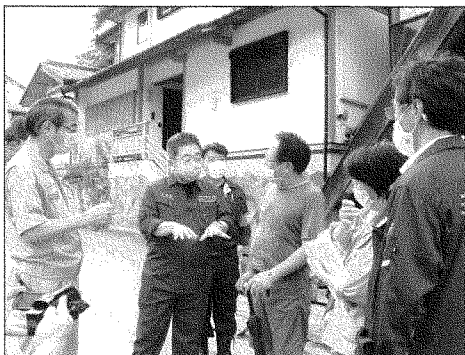


できない」と言います。復旧には多大な費用が必要ですが、国と県で4分の3を補助するグループ補助金を適用できるようにすることや直接支援が必要です。

(←被災したホテル成天閣の社長から要望を聞く)



(←天ヶ瀬温泉組合長から支援の要望を聞く)



日隈、大谷両市議、各被災地域で懇談し意見要望を聞く

中津江小中学校の体育館
避難所を訪問←



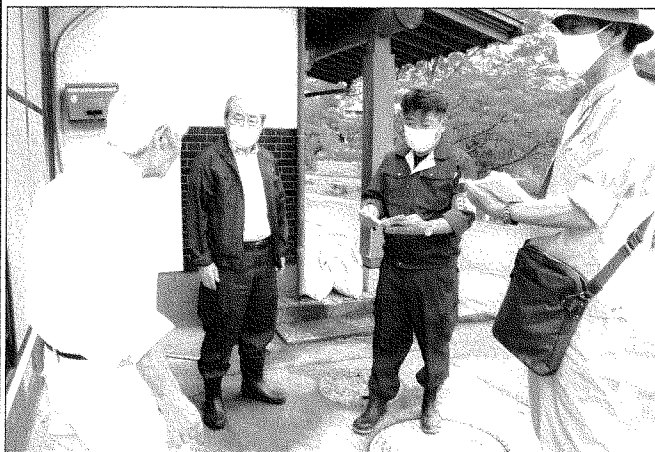
↑避難者は「山が崩落の時大きな音とがした。自宅のベッドでゆっくり寝たい」と話しました。

天ヶ瀬温泉街のホテル・旅館の関係者と懇談←



↑「グループ補助金制度など補助の大きい直接支援があるとありがたい」という意見が出た。

九重町野上地区の被害を視察←



↑「80年もなるが、床上にまで川水が入ったのは初めてだ」と川の近くの住民。